


ドイツ・スイス・イタリア・フランス

2010年の3月初め、スギ花粉舞う日本を脱出し、ヨーロッパ4ヶ国をめぐるツアーに妻と二人で参加した。阪急交通社が主催する8泊9日の旅である。

3月10日（晴れ） 成田  ミュンヘン

定刻 13:20 に成田を離陸したルフトハンザ航空（LH-0175）は北へ向かい、ハバロフスクからバイカル湖上空を飛行する。視界は良く、高度1万mから見るタイガ、ツンドラ地帯は白（雪）と黒（森林）の模様を限りなく広げている。



今回の旅は阪急交通社が主催するビジネスクラス飛行体験モニターツアーである。座席と食事は快適だが、機内エンターテインメントは日本映画や囲碁、麻雀ゲームがある JAL のほうが楽しめる。約12時間飛行し、夕方ミュンヘン空港に着陸する。粉雪の舞う中、バスで今夜の宿、メルキュール・オルビスホテルに向う。チェックインの後、ミュンヘンビールを賞味する。

3月11日（雪後曇り） ミュンヘン  ノイシュヴァンシュタイン城  インタラーケン

今回のツアーメンバーは客10人、添乗員1名の合計11名である。朝食後、大型バス（40人乗

りに客 10 人のゆったりシート)でロマンチック街道を南下し、ノイシュヴァンシュタイン城の観光に向う。下車後、雪の坂道を登ること約 15 分、シンデレラ城のモデルになった美しい城が雪の中から現れた。城内を見学し、近くのレストランで「ソーセージ」と「ミュンヘンビール」の昼食をとり、次の観光地ヴィースの巡礼教会に向う。世界遺産に登録された雪原にたたずむ教会に入り天井画などを鑑賞する。その後、バスでスイスのインタラーケンに向う。約 400km、6 時間のドライブである。インタラーケンは 3 年前に訪れた町で、ホテルも同じ「シティオーバーランド」であった。



ノイシュヴァンシュタイン城



雪のヴィース巡礼教会



教会の内部

3月12日 (晴れ) インタラーケン  ミラノ

今日はユングフラウヨッホの観光(オプション)が予定されているが、私たちは前に行ったので参加せず、列車で隣町のブリエンツを訪れることにした。ホテルのフロント嬢に列車の時刻を聞くとパソコンを操作し教えてくれた。車窓からブリエンツ湖とアルプスの山並みを眺めながら約 20 分でブリエンツに着く。帰りの列車の時刻を確認しようと駅の窓口に行くと係りのおじさんがミニ時刻表にマークをしてくれた。さすが鉄道大国、スイスの人は皆親切だ。天気は回復し、湖の向こうにアイガー、メンヒ、ユングフラウの三山が姿を見せる。湖とアルプスを眺め、素朴なブリエンツの町並を散策し、インタラーケンに戻る。駅近くの「MIGROS」というショッピングモールにある Food Corner で昼食をとる。ここは自分の好みの料理を皿に盛り、その重さで料金を支払うというシステムである。1Kg が 29 スイスフラン(約 2,700 円)と割高だが、400g の惣菜で満腹となる。



午後、ユングフラウヨッホ観光組と合流し、バスでイタリアのミラノに向う。アルプスを貫通する長さ 17km のゴッタルトトンネルを抜けるとミラノはもうすぐである。夜の大聖堂（ドウモ）近くを散策し、「ミラノ風カツレツ」で夕食後、郊外のホテル「リパモンティ」に投宿する。

3月13日（晴れ） ミラノ

今日は終日、自由行動である。ゆっくりと朝食をとり、路線バスと路面電車を乗り継いでミラノの町へ出掛ける。2年前のイタリアツアーで訪れた町であるが、今日は天気が良いのでのんびりと見学できる。最初にドウモを訪れステンドグラスの美しさを再見後、エレベーターで上に昇る。尖塔が立ち並ぶ屋上からミラノの町並みを望む。次にスカラ座に入る。入場料 1000 円程度では生のショーを見ることは出来ないが、前に公演されたショーを舞台のスクリーンに映し出している。升席から見るこの 3D ビデオ映像は実演かと思うほどの迫力である。

ドウモ広場のカフェで昼食をとり、地下鉄でサンタ・マリア・デッレ・グラティエ教会へ向う。レオナルド・ダ・ヴィンチの壁画「最後の晚餐」で有名な教会である。入場は予約制だが、オフシーズンなので運がよければと思い行ってみた。しかし、受付では「Completely sold out. Today, No Chance!」と冷たい言葉しか返ってこなかった。教会の建物をデジカメに収め、またドウモ広場へ引き返し、相棒のウインドウ・ショッピングに付き合う。

ホテル「リパモンティ」は半円形で端から端までは 500m はあろうかと言う 10 階建ての大きな建物で、コンドミニウムスタイルの部屋には調理器具もある。敷地内のマーケットでビール、ワイン、食材を購入し、自室で夕食をとる。歩き疲れたので今日は早めに就寝する。



夜のドウモ



ドウモの屋上



サンタ・マリア・デッレ・グラティエ教会





ホテル「リパモンティ」



ハム

ミラノの夕食

パン

3月14日 (晴れ) ミラノ  パリ  モン・サン・ミシェル

今日は空路パリへ移動する予定である。しかし、エンジントラブルのため予定便はキャンセルとなり、代替機で2時間遅れてパリに到着する。空港からセーヌ河の船着場へ直行し、クルージングが始まる。エッフェル塔の近くからノートルダム大聖堂のあるシテ島を巡る遊覧である。アレクサンドル橋、ルーヴル美術館など見所は多い。

「エスカルゴ」の夕食を市内のレストランで楽しんだ後、バスでモン・サン・ミシェルへ向う。約370km、5時間強の長旅の後、深夜ホテルに到着する。



アレクサンドル橋



ノートルダム大聖堂



エスカルゴ

3月15日 (霧のち晴れ) モン・サン・ミシェル  パリ

世界遺産「モン・サン・ミシェル修道院」にバスで向うが、周りは霧で何も見えない。修道院近くの駐車場でバスを降り、参道を上るが海に浮かぶ岩山に建つという修道院の姿はない。フランスのガイド嬢に案内され、修道院の中を見学する。外に出ると少しずつ霧は晴れてきた。昔の修道者が食べたと言う当地名物「オムレツ」の昼食を終える頃、修道院の全容が姿を現した。



霧のモン・サン・ミシェル



やっと見えた！



午後、モン・サン・ミッシェルを後にし、バスでパリに戻る。エッフェル塔などの市内観光をした後、セーヌ河畔のホテル「ブルマン パリ」にチェックインする。



ナポレオンが眠るアンヴァリッド



ホテル 「ブルマン パリ」

3月16日 (晴れ) パリ  ヴェルサイユ  パリ

今日は終日フリーである。日本出発前にパリの坂本画伯に E メールしたが、彼は展覧会の準備で帰国するとのことで残念ながらパリでの再会は実現しなかった。

午前中にヴェルサイユ宮殿に行こうと「地球の歩き方」をガイドに出発した。ホテル近くの郊外高速鉄道 (R.E.R.) の VICTOR 駅まで歩く。駅でヴェルサイユへの切符を買おうと思ったが自動券売機しかない。買い方が分からずとまどっていると、フランス女性が Help してくれ切符を手にすることが出来た。電車に乗って約 20 分、ヴェルサイユに到着。入場券 (15 ユーロ) を買い、宮殿に入る。日本語のオーディオガイドを聞きながら順路に従って進む。鏡の間、王の寝室など圧巻である。宮殿見学後、広大な庭園を散策し、持参の弁当 (手作りサンド) を広げる。



ヴェルサイユ宮殿



鏡の間

ヴェルサイユから再び R.E.R. に乗り、パリ市内へ向う。車窓からエッフェル塔を眺め、ナポレオンが眠るアンヴァリッドの近くで下車する。セーヌ河のクルージングで見たアレクサンドル 3

世橋を渡り、シャンゼリゼ通りを凱旋門に向け歩く。稚内（北緯 45 度）より北に位置するパリの街だが、冬着だと汗ばむぐらいだ。有名ブランド店を覗きながら 1.5km ほど歩くと凱旋門に到着。入場料を払い、螺旋階段を上る。地上約 50m の屋上から今歩いてきたシャンゼリゼ通りやパリ市街の眺望を楽しむ。エッフェル塔、ノートルダム寺院、モンマルトルの丘に建つサクレ・クール聖堂が見える。次にシャルル・ド・ゴール駅から地下鉄に乗り、サクレ・クール聖堂に行く。ごみごみした石畳の参道を通り、階段を登る。高さ 83m のドームを持つ聖堂に入り、2 ユーロのローソクに火をつけ、キリスト像に旅の安全と家族の健康を祈る。



凱旋門



シャンゼリゼ通り



サクレ・クール聖堂

朝から歩き続け、階段を上り下りした疲れを覚える。夕食時になったので「地球の歩き方」で紹介しているワインレストランに行くことにする。「ピガール駅」から地下鉄に乗り、ギリシャの神殿を思わせるマドレーヌ教会近くの駅で降り、レストラン「レクリューズ」に入る。ビールで潤いた喉を潤したあと、フランス料理とボルドーワインでパリ観光を締めくくる。ホテルへ帰る為、地下鉄の駅（マドレーヌ）に行くが切符売り場も自動券売機も見当たらない。周りを探すがわからないので、通りかかったアベックさんに聞いてみる。すると彼らが持っている回数券を 2 枚譲ってくれた。「メルシー」と礼を言い、3.2 ユーロを渡す。親切なフランス人に出会いラッキーだった。パリにはスリやひったくりが多いと聞き用心していたが、今日は親切なパリジャンにたくさん出会い、パリが好きになった 1 日である。

3月17日 (晴れ) パリ		フランクフルト		成田
---------------	---	---------	--	----

3月17日の朝、パリからルフトハンザ航空でフランクフルトを経由して帰国の途についた。18日の朝、予定通り成田空港に着陸した。クシャミとハナミズが出迎えてくれた。

ヨーロッパ4ヶ国を廻る駆け足の旅であったが、ミラノとパリでは終日フリータイムを楽しむことが出来た。路線バス、列車、地下鉄などの乗り降りには戸惑ったが、ガイドブックと地元の人達に助けられ、無事旅を終えることが出来た。

ダンケシェーン！ グラティエ！ メルシーボク！ ありがとう！



ヴェルサイユ宮殿の庭園